

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第1区分
【発行日】令和3年4月15日(2021.4.15)

【公開番号】特開2019-62772(P2019-62772A)
【公開日】平成31年4月25日(2019.4.25)
【年通号数】公開・登録公報2019-016
【出願番号】特願2017-189446(P2017-189446)
【国際特許分類】

A 0 1 M 1/04 (2006.01)

【F I】

A 0 1 M 1/04 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月26日(2021.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

誘虫用光源であって、紫外線照射LEDを有し、全体が1枚の基板に直接又は間接的に取り付けられたユニットであって、該ユニットの全部又は一部に紫外線を受けて、可視光を放射する蛍光塗料を塗布したことを特徴とする誘虫用光源ユニット。

【請求項2】

パルス発生部を有することを特徴とする請求項1に記載の誘虫用光源ユニット。

【請求項3】

該基板にカバーを設けている請求項1又は請求項2に記載の誘虫用光源ユニット。

【請求項4】

さらに、可視光照射LEDを有するものである請求項1乃至3のいずれか1項に記載の誘虫用光源ユニット。

【請求項5】

該紫外線照射LEDは、該カバーに設けられているものである請求項3又は4記載の誘虫用光源ユニット。

【請求項6】

該基板の裏面に金属板を設けたものである請求項1乃至5のいずれか1項に記載の誘虫用光源ユニット。

【請求項7】

該蛍光塗料は、蓄光剤を含んでいるものである請求項1乃至6のいずれか1項に記載の誘虫用光源ユニット。

【請求項8】

該パルス発生部は、点灯時間と消灯時間の比率を変更できるものである請求項2乃至7のいずれか1項に記載の誘虫用光源ユニット。

【請求項9】

該可視光照射LEDの点滅周波数が該紫外線照射LEDの点滅周波数より大きいものである請求項4記載の誘虫用光源ユニット。